

県立萩商工高等学校建築コースの２年生が森林・林業インターンシップで製作した木製ベンチを寄贈しました

令和６年３月１５日(金)、県立萩商工高等学校建築コース２年生が森林・林業インターンシップ事業で製作した木製ベンチ３台を萩・明倫学舎へ寄贈しました。当日は、学舎の責任者の挨拶の後、贈呈となりました。萩地域産の杉を使って製作されたベンチは、出来栄も素晴らしいものです。明倫学舎は開館６年を迎え累計来館者は１２０万人と多くの観光客が来館しており、この観光客の休憩用のベンチとして利用されています。

生徒たちは、このベンチを製作することで、地域産の木材を利用する意義への理解が進んだと思います。

山口県では、今後もこの取組を継続することで、木の良さや県産木材の利用への理解が進み、木材産業分野などへ就業の選択肢の広がりを期待しています。



ベンチ



記念撮影